

令和7年第9回豊山町教育委員会定例会会議録

1 開催日時 令和7年9月5日（金） 午前9時から午前10時10分まで

2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3

3 出席者 教育長職務代理者 佐藤 正 司
教育委員 後藤 明 美
教育委員 志水 千 鶴

説明のため出席した職員

事務局長	小塚 和 宣
教育参事	山 中 洋 子
学校教育課長	菊 地 智 行
給食センター所長	牛 田 彰 和
生涯学習課長	青 井 宏 司
教育専門員	渡 邊 亘 宏

4 傍聴者 なし

5 議 題 日程第1 前回会議録の承認

日程第2 事業報告

日程第3 付議案件

（1）議案第24号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和6年度分）について

（2）承認第5号 令和7年度豊山町一般会計補正予算（第2号）（教育委員会関係分）に対する意見に係る代決について

（3）報告第23号 令和6年度豊山町一般会計歳入歳出決算（教育委員会関係分）について

（4）報告第24号 豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正について

（5）報告第25号 豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部改正について

（6）報告第26号 令和7年度第1回給食センター運営委員会について

日程第4 その他

6 議事内容

開会の宣告（午前9時）

職務代理者： 皆様おはようございます。

9月1日の9月定例会で1年近く空席になっておりました教育長の人

事案件が全会一致で可決されました。それにより、９月２２日付で新しい教育長が就任されることが決定しました。非常事態の中、学校の先生方、山中参事を始め教育委員会職員の皆さんの奮闘により何とか急場をしのぐことができました。私自身も教育長不在の間、本当に微力ながら代理が全うできたのは皆様の協力のおかげと感謝申し上げます。

新しい教育長の下で、これからまた豊山町の子どもたちのため、また明るい未来のために新しい目標を立てていただくことになると思います。教育長指導の下、これまで以上に頑張ってくださいことを期待しています。

それでは第９回教育委員会定例会をしていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

【日程第１ 前回会議録の承認】

職務代理者： 議事に入ります前に、事前に配付させていただいた、令和７年第８回豊山町教育委員会定例会の会議録は、このまま承認してよろしいですか。

（「異議なし」の声）

職務代理者： 令和７年第８回豊山町教育委員会定例会の会議録は、承認をいたしますので、閉会後に委員の皆様の署名をお願いします。

【日程第２ 事業報告】

事務局長： 前回定例会からこの間の事業報告をいたします。

令和７年８月１日（金）から令和７年９月４日（木）までの事業報告でございます。

企画課の事業となりますが、８月５日（火）から８日（金）に友好交流都市の北海道せたな町へ中学生派遣事業が実施されました。男子５名・女子５名の１０名が派遣され、せたな町の中学生と農業体験やキャンプを通じて交流を行いました。

８月７日（木）に町長への表敬訪問がありました。来庁されたのは、新栄小学校３年生と新栄小学校１年生の姉妹です。訪問理由は８月２１日（木）、２４日（日）に東京武道館で行われる第２５回全日本少年少女空手道選手権大会に出場することを報告するためです。

８月２１日（木）から２２日（金）、長野県の阿智村で豊山中学校の生徒の体験スポーツ事業が実施されました。１年生の生徒１４６名が参加しました。

８月２０日（水）にエアポートビューマラソン第１回実行委員会と第２回豊山町愛知駅伝チームサポート会議を開催しました。

８月２１日（木）に豊山町議会総務文教委員会の調査で志水小学校のトイレ改修工事の現地視察を行いました。

8月22日（金）に第2回豊山町教育事務執行等外部評価委員会を開催しました。結果報告につきましては、議案第24号で説明いたします。

8月25日（月）に第4回豊山町民体育大会実行委員会を開催しました。

9月1日（月）から第3回豊山町議会が始まっています。（1）教育委員会に関する一般質問は、議員10名中6名より通告を受けております。一般質問につきましては、8日（月）午前9時30分から開催予定です。また（2）教育委員会に関する議案のうち、議案第51号「教育長の任命について」、議案第52号「教育委員会委員の任命について」の人事案件につきましては、議会初日に全会一致で可決され、議会の同意をいただきました。教育長につきましては伊藤圭樹氏、任期が令和7年9月22日から令和10年9月21日までの3年間です。また、後藤明美委員につきましては、令和7年9月30日をもって任期満了となりますので、引き続き教育委員をお願いするものです。議案第62号「令和7年度豊山町一般会計補正予算（第2号）」につきましては、志水小学校施設整備工事として5百万5千円を計上しています。

9月2日（火）に町内校長会議を開催しました。

以上で報告を終わります。

【日程第3 付議案件】

職務代理者： それでは、付議案件に入ります。

「議案第24号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和6年度分）について」、事務局から説明をお願いします。

教育専門員： 一説明—

職務代理者： 事務局より説明がありました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

志水委員： 私が関わっている志水小学校に限ったことしか分かりませんが、16番の地域人材を生かしたキャリア教育に関して、子どもたちへ将来の職業について3回ほどお話をさせていただいています。5・6年生に限ってですが、多岐にわたる方が各クラス2、3名ずつお話してもらっています。

後藤委員： 何をしているか教えてください。

志水委員： 私は元々ピアノを教えていましたので、昨年と一昨年はその話をしました。また、ハンドメイドもしていますので、その話もしました。パソコンを使って画像を作る方やジュエリーを作る方、モデルをされている方、パティシエをされている方等、色々な職業の方の話を志水小学校で

はしてもらっているので、他の学校でもしていると思っていました。他の学校でもしてもらえると良いということでB評価なのですね。

事務局長： 同じような話が会議中も出ました。

志水委員： スポーツに関しても、知らない子がたくさんいます。広報には掲載されていますが、見ている方も限られています。学校でもプリントは配布されますが、配布だけで終わってしまっているのもっと情報発信をしてほしいです。

職務代理者： 柱2は学校が行うことについての評価ですね。

教育参事： はい。

職務代理者： そのうちのキャリア教育がB評価ということで、その評価がついたというのはそれなりに理由があるということですね。ご意見を参考にして改善をお願いします。

後藤委員： キャリア教育は難しいですね。中学3年生で行うのですか。それとも小学校から行うのですか。

教育参事： キャリア教育は小学校から行いますが、中学2年生で職場体験という形で具体的に行います。出前授業も小学校で行っています。志水小学校の活動を他校に広げていけると良いかと思います。

後藤委員： 私も母校の中学校のキャリア教育で話をしに行きますが、いろいろな業種の出身者の中から、生徒からこの人の話を聞きたいというのを応募してもらい、授業の一環で話を聞くということをしています。

色々考えて今度は少しでも改善してもらえると良いと思います。

職務代理者： ありがとうございます。他にご意見等ないようですので、ただいまの議案第24号について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

職務代理者： 議案第24号は、原案どおり可決されました。

続いて「承認第5号 令和7年度豊山町一般会計補正予算（第2号）（教育委員会関係分）に対する意見に係る代決について」、事務局から説明をお願いします。

事務局長： ー説明ー

職務代理者： 事務局より説明がありました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

ご意見等ないようですので、ただいまの承認第5号について、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

職務代理者： 承認第5号は、原案どおり承認されました。

続いて「報告第23号 令和6年度豊山町一般会計歳入歳出決算（教

育委員会関係分) について」、事務局から説明をお願いします。

事務局長： ー説明ー

職務代理者： 事務局より説明がありました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

新栄小学校のトイレ改修工事事業は1億31万7千円で、教育債が6千7百50万円とありますが、他に補助金等の財源はありますか。それともすべて自己財源ですか。

事務局長： これにつきましては、国庫支出金で学校施設環境改善交付金として1千3百30万6千円いただいております。

職務代理者： 残りは自己財源ですか。

事務局長： そうです。

職務代理者： 志水小学校も同じですか。

事務局長： はい。

職務代理者： 他にご意見等ないようですので、続いて「報告第24号 豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正について」、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長： ー説明ー

職務代理者： 事務局より説明がありました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

後藤委員： 新しく通信制の生徒も今後対象になるのですね。対象となる生徒にしっかり周知をお願いします。

学校教育課長： 参考に今後のスケジュールをお伝えします。広報9月号に記事を掲載しております。また、町ホームページにも掲載しております。各私立学校等にも制度の周知を依頼しております。

職務代理者： 10月1日施行ですか。それとも4月に遡りますか。

学校教育課長： 10月1日から今年度の申請を開始しますので、公布の日、具体的には8月14日から施行としております。

職務代理者： 分かりました。他にご意見等ないようですので、続いて「報告第25号 豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部改正について」、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長： ー説明ー

職務代理者： 事務局より説明がございました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

ご意見等ないようですので、続いて「報告第26号 令和7年度第1回給食センター運営委員会について」、事務局から説明をお願いします。

給食センター所長： ー説明ー

職務代理者： 事務局より説明がございました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

ご意見等ないようですので、以上で付議案件を終わります。

【日程第4 その他】

職務代理者： 次に「その他」の事項に入ります。事務局から、その他報告事項等がありますか。

学校教育課長： 志水小学校トイレ改修工事の進捗状況についてご報告します。8月いっぱい屋外トイレと体育館トイレは工事を完了しました。9月から屋外トイレと体育館トイレは使用可能となっています。補正予算に計上しました石綿除去工事を実施することにより、作業工程が一部変更になっています。本来は西トイレから作業する予定でしたが、東トイレから工事を行っております。したがって、児童の皆さんには西トイレを使用いただいています。東トイレの工事は10月末頃に完了予定で、入れ替える形で西トイレを工事します。児童の皆さんには11月から東トイレを使用してもらいます。作業工程を入れ替えたことによる学校運営への影響はありません。

— 一次回教育委員会定例会の開催日時について連絡 —

職務代理者： 他に委員の皆様から何かご発言があればお願いします。

(発言なし)

閉会の宣告（午前10時10分）

職務代理者： 以上で、令和7年第9回豊山町教育委員会定例会を閉会します。

令和7年第9回豊山町教育委員会定例会 次第

日 時：令和7年9月5日（金）

午前9時00分

場 所：豊山町役場 3階 会議室3

1 開会の宣告

2 前回会議録の承認

3 事業報告

4 付議案件

- (1) 議案第24号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和6年度分）について
- (2) 承認第5号 令和7年度豊山町一般会計補正予算（第2号）（教育委員会関係分）に対する意見に係る代決について
- (3) 報告第23号 令和6年度豊山町一般会計歳入歳出決算（教育委員会関係分）について
- (4) 報告第24号 豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正について
- (5) 報告第25号 豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部改正について
- (6) 報告第26号 令和7年度第1回給食センター運営委員会について

5 その他

6 閉会の宣告

議案第 24 号

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果
報告書（令和 6 年度分）について

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和 6 年度分）を別紙のとおり作成することについて、議決を求める。

令和 7 年 9 月 5 日提出

豊山町教育委員会教育長職務代理者 佐藤 正司

提出理由

この案を提出するのは、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和 6 年度分）の作成に関して、教育委員会の決定を得るため必要があるからである。

**教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の
結果報告書（令和6年度分）について〔概要〕**

1 経緯

平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）が改正され、平成 20 年 4 月から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないとされた。また、点検・評価を行う際には、教育に関して学識経験を有する者の知見を活用することが求められている。

2 令和7年度 豊山町教育事務執行等外部評価委員

堀田 裕子	摂南大学 現代社会学部 教授
岡島 啓子	愛知県教育委員会尾張教育事務所 家庭教育コーディネーター

3 外部評価委員会開催日時

第1回	令和7年7月24日（木）	午後2時～午後3時30分	豊山町役場2階	会議室2
第2回	令和7年8月22日（金）	午後2時～午後3時	豊山町役場2階	会議室2

4 評価基準及び全体の評価

	基 準	評価（全27項目）	評価（全27項目）
		令和6年度	令和5年度
S	良い。現在の水準を維持し継続する。	9	9
A	概ね良い。内容を更に充実して継続する。	17	18
B	良いが、見直しをし、改善して継続する。	1	0
C	評価が低い。抜本的に見直しをするか、廃止をする。	0	0

5 報告書の構成

第1部 点検・評価制度の概要

1 経緯 2 点検・評価の対象 3 点検・評価の方法

第2部 教育委員会の活動状況の点検・評価

1 教育委員会会議の開催と審議状況 2 教育委員の活動状況

第3部 主要施策と事業の自己点検・自己評価

柱1 子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育

柱2 つながれた学校・家庭・地域

柱3 学びを支える教育環境

柱4 生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ

第4部 学識経験者による評価

6 評価

内 容	評価	学識経験者の評価（抜粋）
1 教育委員会会議の開催と審議状況	A	堀田委員：豊山町のホームページ上で公開されている全12回の定例会会議録からは、回によっては十分な時間をかけて意見交換が為されていることが確認でき、定例会および会議は、前年度同様、適切におこなわれている。
2 教育委員の活動状況	A	岡島委員：学校訪問、校長との合同会議、各種総会・研修会等への参加など活動状況として十分に評価できる。今後も継続されたい。正しい現状把握、実態把握あってこそ、議論が深まり、適切な施策や手立てに繋がっていく。

柱 1	1	情報教育の推進	S	A	<p>1 堀田委員：小中学校における ICT 活用、情報モラル教育、プログラミング教育、オンラインでの交流など、単に情報機器を使うことができるという技能を超えた情報教育がすでに定着しつつあることが伺える。</p> <p>6 岡島委員：町職員の加配が1名増えていることはよいことである。「個に応じた適切な支援ができるように努める」とあるが策を講じ、ぜひお願いしたい。学校教育の全体に言えることだが、教員・支援員の質の向上に掛かっている。</p>
	2	外国語教育・国際交流の推進	A		
	3	道徳教育の推進	A		
	4	教員の資質向上	A		
	5	少人数指導、ティームティーチングの推進	S	S	
	6	特別支援教育の推進	S		
	7	教育相談・生徒指導体制の充実	A		
	8	健やかな児童生徒の育成	A		
	9	学校体育・スポーツ活動の推進	A		
	10	就学援助の充実	A		
柱 2	11	家庭の教育力向上への支援	A	S	<p>16 堀田委員：評価は「A」とされているが、小学校の出前講座には地域人材を活用するなど、まだ改善の余地があると思われるため、「B」評価が適切ではないか。</p> <p>13 岡島委員：スポーツ少年団の活動は長く継続されていて、すばらしいと思う。実績からさらに入団が増えていることにも驚く。指導者の尽力により、丈夫な体と豊かな心が確実に育まれていると思う。その趣旨のもと指導者が引き継がれ、今後も継続されていくことを願う。</p>
	12	地域の教育力向上への支援	S		
	13	子どもの豊かな心を育む活動支援	S	S	
	14	地域に開かれた学校経営の推進	A	A	
	15	特色ある学校教育の推進	A		
	16	地域人材を生かしたキャリア教育	B		
柱 3	17	学校給食・食育の充実	A	S	<p>18 堀田委員：校舎の老朽化に伴う改築工事は、今後随所で必要になってくると思われるが、建てられた当初とは自然環境も社会状況も異なることから、児童生徒にとって快適な環境づくりには躊躇しないいただきたい。</p> <p>21 岡島委員：社会教育施設が積極的・有効的に町民に活用されていることに驚く。利用者のマナーも含め、誰もが気持ちよく安全安心に使えるような施設管理・整備をお願いしたい。</p>
	18	学習環境の整備拡充	S		
	19	教員の働き方改革の推進	S		
	20	学ぶ機会の充実	A	A	
	21	社会教育施設の整備・充実	A		
	22	読書活動の推進	A		
柱 4	23	芸術・文化活動の推進	S	S	<p>23 堀田委員：声優・歌手によるコンサートは、町民の皆様にとって大変貴重な経験となったことと思う。毎年は難しいだろうが、数年に1回はこのように高い芸術文化に触れる機会を提供できたら素晴らしい。</p> <p>25 岡島委員：指導者の育成支援事業、総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業ともに大変充実している。幼児の体操教室や様々な子ども運動教室等、豊富さに驚く。子どもの脳や身体発達の面からもそして経済的な面からも、町民にぜひ有効に活用されるとよいと願う。</p>
	24	文化財・郷土資料の保存・活用	S	S	
	25	スポーツに関わる機会の創出	A	A	
	26	スポーツによる町のにぎわいづくり	A		
	27	スポーツ施設・環境整備の推進	A		

7 報告書の取扱い

地教行法に基づき、議会に提出するとともに、公表するため町ホームページに掲載する。

承認第5号

令和7年度豊山町一般会計補正予算（第2号）（教育委員会関係分）
に対する意見に係る代決について

豊山町教育委員会事務決裁規程第5条第1項及び第2項に基づき、事務局長が令和7年度豊山町一般会計補正予算（第2号）（教育委員会関係分）に対する意見に係る事務の代決を行ったことについて、同規程第7条第1項に基づき、承認を求める。

令和7年9月5日提出

豊山町教育委員会教育長職務代理者 佐藤 正司

提出理由

この案を提出するのは、令和7年度豊山町一般会計補正予算（第2号）（教育委員会関係分）に対する意見について、豊山町教育委員会事務決裁規程第5条第1項及び第2項に基づき、事務局長が事務の代決を行ったため、同規程第7条第1項により、承認を求める必要があるからである。

令和7年度豊山町一般会計補正予算（第2号）（教育委員会関係分）について

歳出 5, 005千円

1 小学校費 学校施設整備事業

（1）補正予算要求額（歳出） 5, 005千円

工事請負費（志水小学校施設整備工事） 5, 005千円

<概要>

志水小学校トイレ改修工事において、校舎西トイレ系統の間仕切り壁に使用されているタイル下接着剤に石綿が含まれていることが判明したことから、除去・処分に必要となる費用について予算計上する。

参 考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育委員会の意見聴取）

第29条 地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。

豊山町教育委員会事務決裁規程（抜粋）

（代決）

第5条 教育長は、教育委員会が処理すべき事務について、緊急やむを得ない事情により教育委員会の会議に付するいとまのないときは、その事務を代決することができる。

2 教育長が不在のときは、事務局長がその事務を代決することができる。

（報告及び後閲等）

第7条 教育長は、第5条第1項の規定により事務を代決したときは、これを次の教育委員会の会議において報告し、その承認を求めなければならない。

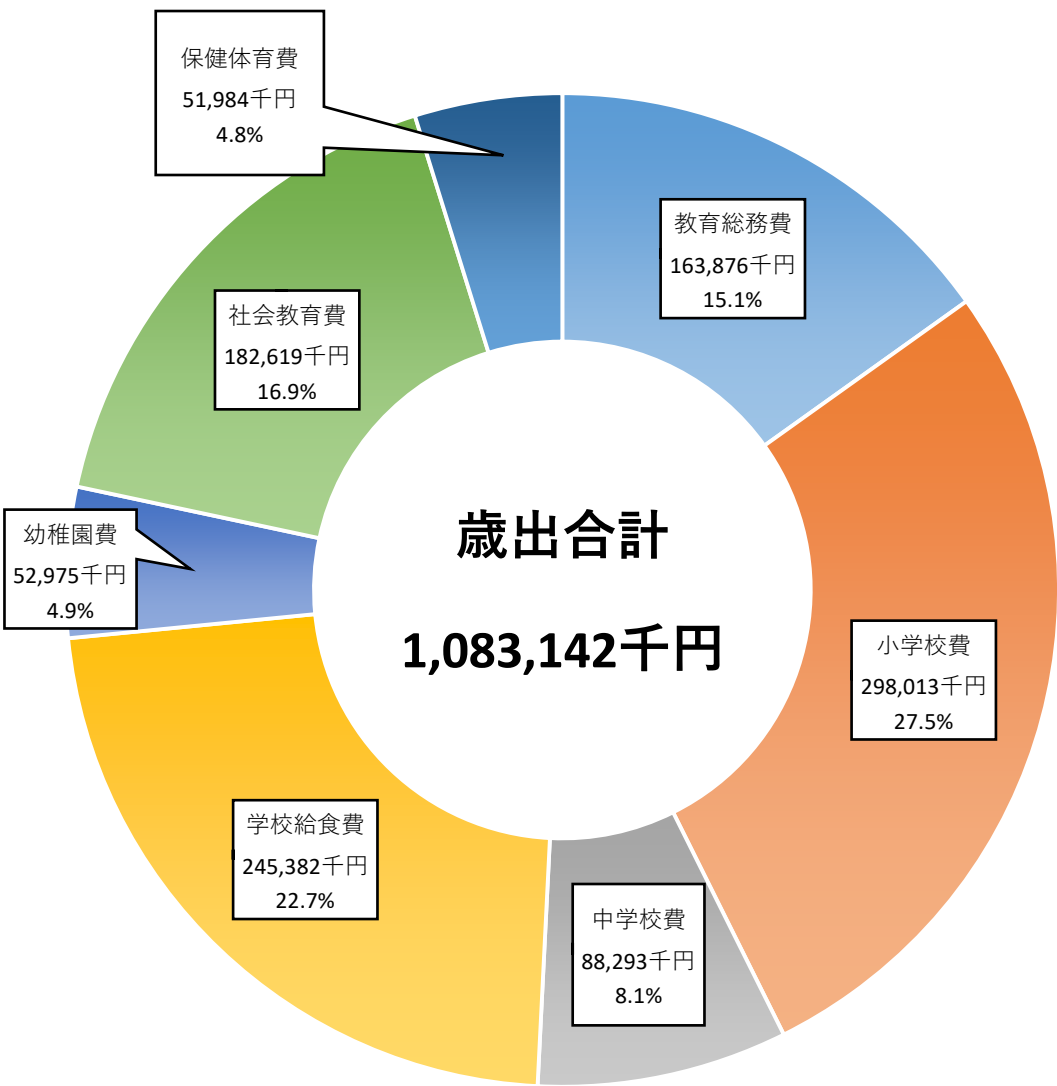
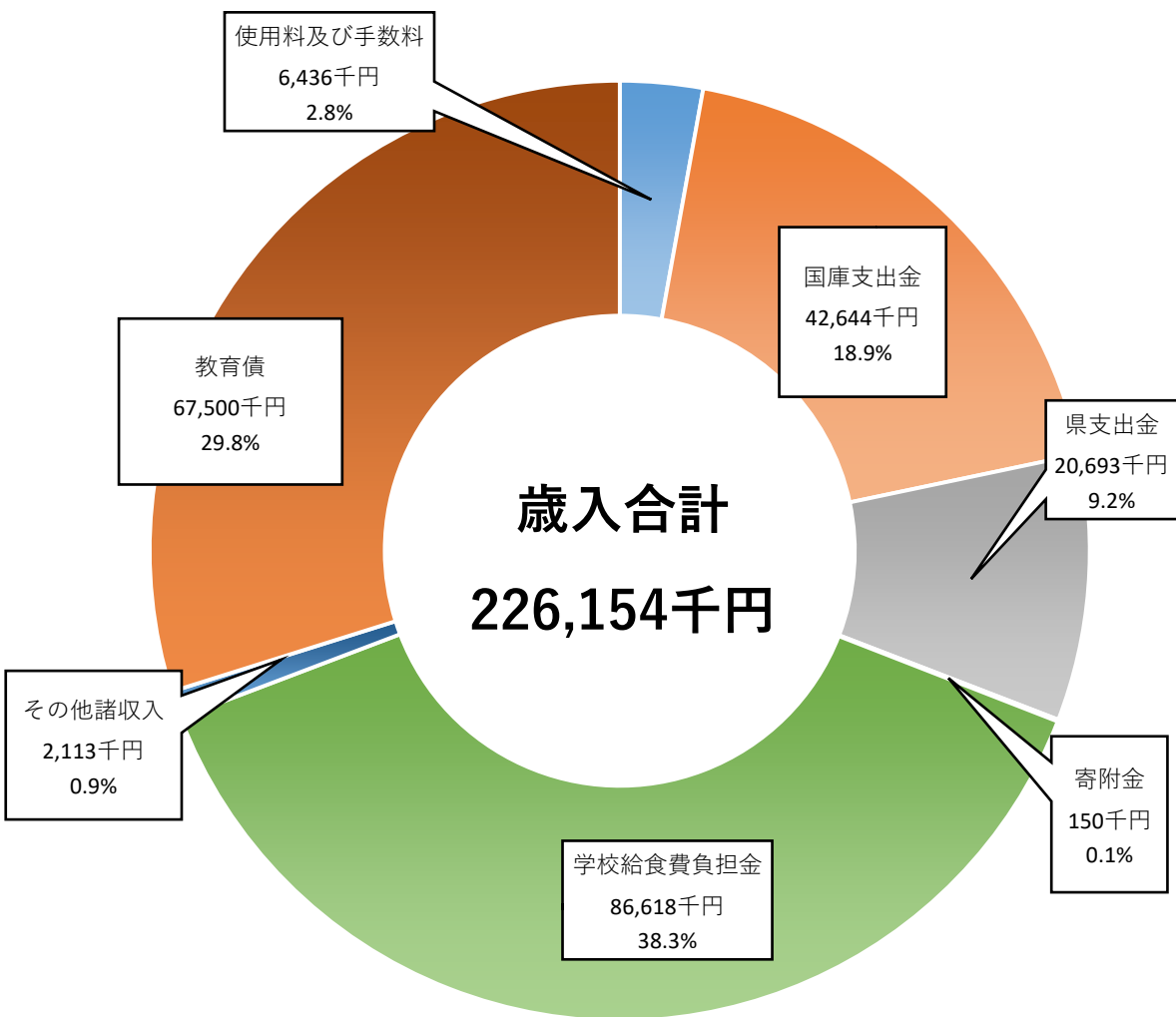
2 前項に規定するもののほか、代決した事案については、速やかに当該事務の専決権者の後閲を受けなければならない。

報告第 2 3 号

令和 6 年度豊山町一般会計歳入歳出決算（教育委員会関係分）について

令和 6 年度豊山町一般会計歳入歳出決算（教育委員会関係分）について、別紙のとおり報告します。

令和 6 年度 教育費決算の概要



主な事業

教育総務費	支出済額	163, 876千円
	予算現額	181, 357千円

- ・教科用図書改訂事業 25, 987千円
小学校教科書改訂に伴う指導用図書や指導教材等の購入及び社会科副読本の編集印刷委託業務
- ・いじめ・不登校への対応事業 18, 644千円
教育支援センターの運営、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置
- ・外国語教育の充実事業 14, 187千円
英語専科教員、外国人英語助手の配置
- ・児童生徒援助事業 11, 685千円
要保護準要保護児童生徒就学援助、特別支援教育就学奨励費支給

小学校費	支出済額	298, 013千円
	予算現額	527, 907千円

- ・学校管理一般事業（報酬等） 45, 159千円
少人数指導、ティームティーチングを実施するための町講師等の配置
 - ・学校施設整備事業（工事請負費） 100, 317千円
新栄小学校トイレ改修工事の実施
 - ・学校施設整備事業（工事請負費） 2, 178千円
豊山小学校防災井戸設置工事の実施
 - ・ＩＣＴ機器の活用推進事業 70, 994千円
タブレット機器賃借等によるＩＣＴ機器の活用推進
- ※志水小学校トイレ改修工事に係る予算（203, 115千円）は令和 7 年度へ繰越

中学校費	支出済額	88, 293千円
	予算現額	91, 968千円

- ・学校管理一般事業（報酬等） 16, 335千円
少人数指導、ティームティーチング、校内教育支援センターを実施するための町講師等の配置
- ・学校施設整備事業（工事請負費） 1, 485千円
豊山中学校プール可動式屋根南屋根車輪調査及び研磨工事
- ・ＩＣＴ機器の活用推進事業 26, 609千円
タブレット機器賃借等によるＩＣＴ機器の活用推進、デジタル採点システムの導入

学校給食費	支出済額	245, 382千円
	予算現額	254, 239千円

- ・新給食センターの適正な運営事業 108千円
給食センター運営委員会の実施
- ・食物アレルギー対応の促進事業 38千円
学校給食アレルギー対応検討委員会の実施
- ・学校給食事業（委託料） 93, 667千円
給食調理委託、給食センターの施設管理

幼稚園費	支出済額	52, 975千円
	予算現額	73, 359千円

- ・幼児教育支援事業 52, 975千円
幼児教育に係る保護者の経済的負担を支援

社会教育費	支出済額	182, 619千円
	予算現額	193, 542千円

- ・文化財の保存・活用事業 16, 391千円
埋蔵文化財の有無を確認するために試掘調査を実施
- ・学習ニーズに対応した学習プログラムの提供事業 876千円
「子ども読書活動推進計画」等を議題とした審議会を開催
- ・文化振興事業、お昼のときめきコンサートの充実事業 2, 531千円
松本梨香さんによるコンサートを開催
- ・社会教育センター管理一般事業 53, 602千円
社会教育センター幼児遊戯室タイルカーペット貼替工事を施工

保健体育費	支出済額	51, 984千円
	予算現額	56, 235千円

- ・総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業 2, 018千円
地元住民や企業の協力による「わくわくらぶ」を実施
- ・スポーツ大会の開催事業 4, 300千円
「町民体育大会」「とよまエアポートビューマラソン」を開催
- ・愛知駅伝への参加・支援事業 768千円
愛知駅伝大会にチームを編成し参加
- ・豊山グランド維持管理事業 5, 985千円
散水給水管配管の移設工事や建物の建具改修工事等を実施
- ・豊山スカイプール維持管理事業 21, 793千円
スカイプールの運営

報告第 2 4 号

豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正について

豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正について報告します。

豊山町告示第64号

豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱（令和3年豊山町告示第48号）の一部を次のように改正する。

令和7年8月14日

豊山町長 服部正樹

第2条第2項第1号中「10月1日」の次に「(以下「基準日」という。)」を加え、同項第2号中「補助金の交付を受けようとする年度の10月1日」を「基準日」に改め、同項第3号及び第4号を次のように改める。

(3) 私立高等学校等の全日制の課程に在籍する者のうち、基準日において私立高等学校等に在籍する期間が通算して36月を超えるもの

(4) 私立高等学校等の定時制の課程若しくは通信制の課程に在籍する者のうち、基準日において私立高等学校等に在籍する期間が通算して48月を超えるもの

第3条中「交付額は、」の次に「1年度につき」を加え、同条第1号中「年額 18,000円」を「次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定める額」に改め、同号に次のように加える。

ア 私立高等学校等の全日制の課程又は定時制の課程に在籍する場合 18,000円

イ 私立高等学校等の通信制の課程で授業料が定額をもって定められているものに在籍する場合 1,300円

ウ 私立高等学校等の通信制の課程で生徒が履修する科目の単位数に応じて授業料の額を定めるものに在籍する場合 1単位につき52円

第3条第2号中「年額 48,000円」を「次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定める額」に改め、同号に次のように加える。

ア 私立高等学校等の全日制の課程又は定時制の課程に在籍する場合 49,800円

イ 私立高等学校等の通信制の課程で授業料が定額をもって定められているものに在籍する場合 3,600円

ウ 私立高等学校等の通信制の課程で生徒が履修する科目の単位数に応じて授業料の額を定めるものに在籍する場合 1単位につき144円

第3条第3号中「から415,499円まで」を「以上」に、「年額 28,800円」を「次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定める額」に改め、同号に次のように加える。

ア 私立高等学校等の全日制の課程又は定時制の課程に在籍する場合 29,900円

イ 私立高等学校等の通信制の課程で授業料が定額をもって定められているものに在籍する場合 2,200円

ウ 私立高等学校等の通信制の課程で生徒が履修する科目の単位数に応じて授業料の額を定めるものに在籍する場合 1単位につき88円

第3条第4号を削り、同条に次の1項を加える。

2 前項第1号ウ、第2号ウ及び第3号ウの額の算定に当たっては、次の各号によるものとする。

(1) 算定月の属する年度において算定月の前月までに履修を開始した科目の単位数及び算定月に履修を開始する科目の単位数の合計が30を超えない範囲内とし、30を超える場合にあっては、算定月に履修を開始する科目のうち当該超える部分の単位数に係る単位について合算することができない。

(2) 算定月の属する年度の前年度までに履修を開始した科目であって当該科目を履修する期間を満了したものの単位数及び算定月の属する年度において算定月の前月までに履修を開始した科目の単位数並びに算定月に履修を開始する科目の単位数の合計が74を超えない範囲内とし、74を超える場合にあっては、算定月に履修を開始する科目のうち当該超える部分の単位数に係る単位について合算することができない。

様式第1号中

「

学校・課程	全 日 制 (定 時 制) 高等課程
-------	--------------------------

」を

「

学校・課程	全 日 制・定 時 制 通 信 制・高等課程
-------	---------------------------

」に、

「

上記の者は、本校に在学していることを証明します。 年 月 日 学 校 名 学 校 長	
授 業 料	年 額 円

」を

「

上記の者は、本校に在学していることを証明します。 年 月 日 学 校 名 学 校 長			
履修科目の単位数 (当 該 年 度)	単位	履修科目の単位数 (通 算)	単位
授 業 料	年 額 円		

」に、

「

◎本年1月1日に他の市町村に住所を有していた場合は、前住所地の市（区）
町村長の所得課税証明書を添付してください。

」を

「

◎本年1月1日に他の市町村に住所を有していた場合は、前住所地の市（区）
町村長の所得課税証明書を添付してください。

◎「履修科目の単位数」については、私立高等学校等の通信制の課程で生徒が
履修する科目の単位数に応じて授業料の額を定めるものに在籍する場合に
のみ記載してください。

」に改める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、公布の日から施行する。
(補助金の額の特例)

- 2 この告示による改正後の豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱（以下「新要綱」という。）第3条第1項の規定は、次の表の左欄に掲げる年度の区分に応じ、同表の中欄に掲げる学年に在籍する者について適用し、同表の右欄に掲げる学年に在籍する者については、なお従前の例による。

令和7年度	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年
令和8年度	第3学年以下の学年	第4学年
令和9年度以降	全学年	

- 3 前項の規定にかかわらず、令和7年度に限り、私立高等学校等の定時制の課程の第4学年に在籍する者に対する新要綱第3条第1項の規定の適用については、同項中「49,800円」とあるのは「46,200円」と、「29,900円」とあるのは「27,800円」とする。

（経過措置）

- 4 この告示の施行の際、現にこの告示による改正前の告示の規定に基づいて作成されている用紙は、この告示による新要綱の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(対象者)</p> <p>第2条 略</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者は、補助金の交付を受けることができない。</p> <p>(1) 補助金の交付を受けようとする年度の10月1日(以下「基準日」という。)において対象者でない者</p> <p>(2) <u>基準日</u>において対象者の保護者等(高等学校等就学支援金の支給に関する法律(平成22年法律第18号)第3条第2項第3号に規定する「保護者等」をいう。以下同じ。)が本町に住所を有しない者</p> <p>(3) <u>私立高等学校等の全日制の課程に在籍する者のうち、基準日において私立高等学校等に在籍する期間が通算して36月を超えるもの</u></p> <p>(4) <u>私立高等学校等の定時制の課程若しくは通信制の課程に在籍する者のうち、基準日において私立高等学校等に在籍する期間が通算して48月を超えるもの</u></p>	<p>(対象者)</p> <p>第2条 略</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者は、補助金の交付を受けることができない。</p> <p>(1) 補助金の交付を受けようとする年度の10月1日において対象者でない者</p> <p>(2) <u>補助金の交付を受けようとする年度の10月1日</u>において対象者の保護者等(高等学校等就学支援金の支給に関する法律(平成22年法律第18号)第3条第2項第3号に規定する「保護者等」をいう。以下同じ。)が本町に住所を有しない者</p> <p>(3) <u>私立高等学校等の通信制の課程に在籍する者</u></p> <p>(4) <u>補助金の交付を受けようとする年度の対象者の保護者等の算定基準額(高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令(平成22年政令第112号)第1条第2項に規定する算定基準額をいう。以下同じ。)</u> <u>が、415,500円以上の者(授業料の補助を受けようとする学年度の初日の属する年の前年の12月31日現在において23歳未満の者で、保護者等の地方税法(昭和25年法律226号)第292条第1項第9号に規定する扶養親族であり、かつ、保護者等の市町村民税の申告において扶養親族とされている者のうち、その出生の最も早いものから順次に数えて第3番目以降のものを除く。)</u></p>

豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(補助金の額)</p> <p>第3条 補助金の交付額は、<u>1年度につき次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額とする。ただし、納入すべき授業料（他に授業料に対する補助、減免等を受けている場合は、その金額を差し引いた後の額をいう。）が、補助金額に満たないときは、その納入すべき授業料とする。</u></p> <p>(1) 保護者等の算定基準額が0円から270,299円までの場合 <u>次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定める額</u></p> <p>ア <u>私立高等学校等の全日制の課程又は定時制の課程に在籍する場合 18,000円</u></p> <p>イ <u>私立高等学校等の通信制の課程で授業料が定額をもって定められているものに在籍する場合 1,300円</u></p> <p>ウ <u>私立高等学校等の通信制の課程で生徒が履修する科目の単位数に応じて授業料の額を定めるものに在籍する場合 1単位につき52円</u></p> <p>(2) 保護者等の算定基準額が270,300円から325,499円までの場合 <u>次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定める額</u></p> <p>ア <u>私立高等学校等の全日制の課程又は定時制の課程に在籍する場合 49,800円</u></p> <p>イ <u>私立高等学校等の通信制の課程で授業料が定額をもって定められているものに在籍する場合 3,600円</u></p> <p>ウ <u>私立高等学校等の通信制の課程で生徒が履修する科目の単位数に応じて授業料の額を定めるものに在籍する場合 1単位につき144円</u></p>	<p>(補助金の額)</p> <p>第3条 補助金の交付額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額とする。ただし、納入すべき授業料（他に授業料に対する補助、減免等を受けている場合は、その金額を差し引いた後の額をいう。）が、補助金額に満たないときは、その納入すべき授業料とする。</p> <p>(1) 保護者等の算定基準額が0円から270,299円までの場合 <u>年額 18,000円</u></p> <p>(2) 保護者等の算定基準額が270,300円から325,499円までの場合 <u>年額 48,000円</u></p>

豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(3) 保護者等の算定基準額が<u>325,500円以上</u>の場合 次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定める額</p> <p>ア 私立高等学校等の全日制の課程又は定時制の課程に在籍する場合 <u>29,900円</u></p> <p>イ 私立高等学校等の通信制の課程で授業料が定額をもって定められているものに在籍する場合 <u>2,200円</u></p> <p>ウ 私立高等学校等の通信制の課程で生徒が履修する科目の単位数に応じて授業料の額を定めるものに在籍する場合 <u>1単位につき88円</u></p>	<p>(3) 保護者等の算定基準額が<u>325,500円から415,499円</u>までの場合 <u>年額 28,800円</u></p>
<p>2 前項第1号ウ、第2号ウ及び第3号ウの額の算定に当たっては、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 算定月の属する年度において算定月の前月までに履修を開始した科目の単位数及び算定月に履修を開始する科目の単位数の合計が<u>30を超えない範囲内とし、30を超える場合にあっては、算定月に履修を開始する科目のうち当該超える部分の単位数に係る単位について合算することができない。</u></p> <p>(2) 算定月の属する年度の前年度までに履修を開始した科目であって当該科目を履修する期間を満了したものの単位数及び算定月の属する年度において算定月の前月までに履修を開始した科目の単位数並びに算定月に履修を開始する科目の単位数の合計が<u>74を超えない範囲内とし、74を超える場合にあっては、算定月に履修を開始する科目のうち当該超える部分の単位数に</u></p>	<p>(4) 保護者等の算定基準額が<u>415,500円以上</u>の場合 <u>年額 28,800円</u></p>

豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正新旧対照表

新	旧
<u>係る単位について合算することができない。</u>	

豊山町私立高等学校等授業料補助金交付要綱の一部改正新旧対照表

新

旧

様式第1号(第4条関係)

<div style="text-align: right;">受付番号</div> <div style="text-align: center;">豊山町私立高等学校等授業料補助金交付申請書</div> <div style="text-align: right;">年 月 日</div>									
豊山町長									
申請者	住所	(電話 -)							
	保護者等氏名								
豊山町私立高等学校等授業料補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。									
学校・課程		全日制・定時制 通信制・高等課程							
学科・学年		科 第 学年							
生徒氏名									
振込先	金融機関名	銀行 信用金庫 農 協 本・支店							
	預金の種類	普通・当座	口座番号						
	口座名義人	フリガナ							
<div style="text-align: center;">学 校 証 明 欄</div> 上記の者は、本校に在学していることを証明します。 年 月 日 学 校 名 学 校 長									
履修科目の単位数 (当該年度)		単位	履修科目の単位数 (通 算)		単位				
授業料		年 額 円							
他の補助、減免等の有無		無・有(全部・一部) [一部の場合その金額 円]							
※算定基準額		円							
※補助金交付額		(区分:) 円							
◎太枠内に、10月1日現在で記入してください。 (※欄は記入しないでください。) ◎本年1月1日に他の市町村に住所を有していた場合は、前住所地の市(区)町村長の所得課税証明書を添付してください。 ◎「履修科目の単位数」については、私立高等学校等の通信制の課程で生徒が履修する科目の単位数に応じて授業料の額を定めるものに在籍する場合にのみ記載してください。									

様式第1号(第4条関係)

<div style="text-align: right;">受付番号</div> <div style="text-align: center;">豊山町私立高等学校等授業料補助金交付申請書</div> <div style="text-align: right;">年 月 日</div>									
豊山町長									
申請者	住所	(電話 -)							
	保護者等氏名								
豊山町私立高等学校等授業料補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。									
学校・課程		全日制 (定時制) 高等課程							
学科・学年		科 第 学年							
生徒氏名									
振込先	金融機関名	銀行 信用金庫 農 協 本・支店							
	預金の種類	普通・当座	口座番号						
	口座名義人	フリガナ							
<div style="text-align: center;">学 校 証 明 欄</div> 上記の者は、本校に在学していることを証明します。 年 月 日 学 校 名 学 校 長									
授業料		年 額 円							
他の補助、減免等の有無		無・有(全部・一部) [一部の場合その金額 円]							
※算定基準額		円							
※補助金交付額		(区分:) 円							
◎太枠内に、10月1日現在で記入してください。 (※欄は記入しないでください。) ◎本年1月1日に他の市町村に住所を有していた場合は、前住所地の市(区)町村長の所得課税証明書を添付してください。									

報告第 25 号

豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部改正について

豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部改正について報告します。

豊山町告示第66号

豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱（令和元年豊山町告示第69号）の一部を次のように改正する。

令和7年8月18日

豊山町長 服部正樹

第4条第1項及び様式第1号中「4,800円」を「4,900円」に改める。

附 則

（施行期日）

- 1 この告示は、公布の日から施行し、改正後の豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の規定は、令和7年4月1日から適用する。

（経過措置）

- 2 改正後の豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の規定は、令和7年度分の補助対象費用から適用し、令和6年度以前の年度分の補助対象費用については、なお従前の例による。
- 3 この告示の施行の際、現にこの告示による改正前の告示の規定に基づいて作成されている用紙は、この告示による改正後の告示の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部改正新旧対照表

新	旧
<p>(補助金の額)</p> <p>第4条 補助金の交付の対象となる費用（以下「補助対象費用」という。）は、満3歳以上の施設等利用給付認定子どもに対する副食費とする。ただし、月額<u>4,900円</u>を限度とする。</p> <p>2 略</p>	<p>(補助金の額)</p> <p>第4条 補助金の交付の対象となる費用（以下「補助対象費用」という。）は、満3歳以上の施設等利用給付認定子どもに対する副食費とする。ただし、月額<u>4,800円</u>を限度とする。</p> <p>2 略</p>

豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部改正新旧対照表

新

様式第1号（第6条関係）

申請日 年 月 日

豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付費交付申請書

（宛先）豊山町長

【申請にあたって同意していただく事項】
1. 決定にあたって必要な範囲内で、申請者の税務情報等の公開、通園先が有する学齢簿、徴収金台帳等を豊山町が閲覧及び調査すること。
2. 申請内容や同意して得た情報を補助金受給資格審査、補助金額の算定、その他の附帯業務のために豊山町が利用すること。
3. 要綱に規定する内容を守ること。
以上のことと同意し、豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱第6条に基づき、以下のとおり申請します。

申請者	フリガナ		申請者子どもの続柄	〒	現住所	〒	—
	氏名				現住所が町外の場合 町内転入後の住所	〒	—
申請子ども	連絡先（電話番号）	自宅	（ ）		携帯	（ ）	
	フリガナ		現住所	〒	—	利用（予定）施設・住所	〒
	氏名		申請者と異なる場合のみ記載				
	生年月日	年 月 日				園名（ ）	
	申請日の前年1月1日現在の住所※	（母親）	<input type="checkbox"/> 現住所と同じ		（父親）	<input type="checkbox"/> 現住所と同じ	
	申請日の前々年1月1日現在の住所※	（母親）	<input type="checkbox"/> 現住所と同じ		（父親）	<input type="checkbox"/> 現住所と同じ	

※ 現住所と異なる場合は、記入した住所地の市町村で発行される前年（前々年）1月1日を賦課年度とする市町村民税所得割額がわかる証明書（課税証明書など）を添付してください。

同居者を全員記入して下さい。

申請者（生計の中心者の番号に○を付けて下さい）	フリガナ	氏名	申請者子どもの続柄	生年月日	就労・通学・通園先 又は単身赴任先
	1			年 月 日	
	2			年 月 日	
	3			年 月 日	
	4			年 月 日	
	5			年 月 日	
	6			年 月 日	
	7			年 月 日	

交付申請額		金 円（ 年 月分～ 年 月分）					
対象月	実費徴収額		補助申請額 bと1,900円のうち 少ない額 c	対象月	実費徴収額		交付申請額 左記eの合計
	給食費 a	うち副食費 b			給食費 a	うち副食費 b	
4月	円	円	円	10月	円	円	円
5月	円	円	円	11月	円	円	
6月	円	円	円	12月	円	円	
7月	円	円	円	1月	円	円	
8月	円	円	円	2月	円	円	
9月	円	円	円	3月	円	円	

※対象となる子どもが複数いる場合は、子どもごとに作成してください。
※実費徴収額（副食費がわかるもの）に係る領収証の写しを添付してください。

補助金の振込先を、以下に記載して下さい。

金 融 機 関 名	銀行・信用金庫 信用組合・農協	本店・支店 出張所
預金種別	1. 普通	2. 当座
口座番号		
口座人名義（カタカナ）		

申請者と口座名義人が異なる場合は、下記の委任欄に署名又は記名押印をお願いします。
【委任欄】 上記口座名義人に受領を委任します。

申請者 氏名 _____

旧

様式第1号（第6条関係）

申請日 年 月 日

豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付費交付申請書

（宛先）豊山町長

【申請にあたって同意していただく事項】
1. 決定にあたって必要な範囲内で、申請者の税務情報等の公開、通園先が有する学齢簿、徴収金台帳等を豊山町が閲覧及び調査すること。
2. 申請内容や同意して得た情報を補助金受給資格審査、補助金額の算定、その他の附帯業務のために豊山町が利用すること。
3. 要綱に規定する内容を守ること。
以上のことと同意し、豊山町副食費の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱第6条に基づき、以下のとおり申請します。

申請者	フリガナ		申請者子どもの続柄	〒	現住所	〒	—
	氏名				現住所が町外の場合 町内転入後の住所	〒	—
申請子ども	連絡先（電話番号）	自宅	（ ）		携帯	（ ）	
	フリガナ		現住所	〒	—	利用（予定）施設・住所	〒
	氏名		申請者と異なる場合のみ記載				
	生年月日	年 月 日				園名（ ）	
	申請日の前年1月1日現在の住所※	（母親）	<input type="checkbox"/> 現住所と同じ		（父親）	<input type="checkbox"/> 現住所と同じ	
	申請日の前々年1月1日現在の住所※	（母親）	<input type="checkbox"/> 現住所と同じ		（父親）	<input type="checkbox"/> 現住所と同じ	

※ 現住所と異なる場合は、記入した住所地の市町村で発行される前年（前々年）1月1日を賦課年度とする市町村民税所得割額がわかる証明書（課税証明書など）を添付してください。

同居者を全員記入して下さい。

申請者（生計の中心者の番号に○を付けて下さい）	フリガナ	氏名	申請者子どもの続柄	生年月日	就労・通学・通園先 又は単身赴任先
	1			年 月 日	
	2			年 月 日	
	3			年 月 日	
	4			年 月 日	
	5			年 月 日	
	6			年 月 日	
	7			年 月 日	

交付申請額		金 円（ 年 月分～ 年 月分）					
対象月	実費徴収額		補助申請額 bと1,800円のうち 少ない額 c	対象月	実費徴収額		交付申請額 左記eの合計
	給食費 a	うち副食費 b			給食費 a	うち副食費 b	
4月	円	円	円	10月	円	円	円
5月	円	円	円	11月	円	円	
6月	円	円	円	12月	円	円	
7月	円	円	円	1月	円	円	
8月	円	円	円	2月	円	円	
9月	円	円	円	3月	円	円	

※対象となる子どもが複数いる場合は、子どもごとに作成してください。
※実費徴収額（副食費がわかるもの）に係る領収証の写しを添付してください。

補助金の振込先を、以下に記載して下さい。

金 融 機 関 名	銀行・信用金庫 信用組合・農協	本店・支店 出張所
預金種別	1. 普通	2. 当座
口座番号		
口座人名義（カタカナ）		

申請者と口座名義人が異なる場合は、下記の委任欄に署名又は記名押印をお願いします。
【委任欄】 上記口座名義人に受領を委任します。

申請者 氏名 _____

報告第26号

令和7年度第1回豊山町給食センター運営委員会について

令和7年度第1回豊山町給食センター運営委員会を開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 開催日時 令和7年7月28日（月）午後2時～午後3時
- 2 開催場所 豊山町給食センター2階 研修室
- 3 出席者
（委員） 上原正子（委員長）、志水千鶴（副委員長）、後藤祥子、池田いずみ、服部いづみ、杉 直哉、尾崎理恵、伊藤英紀
（事務局） 小塚和宣（教育委員会事務局長）、牛田彰和（給食センター所長）、渡邊志保（栄養教諭）、岡島康裕（給食センター主事）
- 4 欠席者
（委員） 岡 泰宏
- 5 議題 （1）令和6年度学校給食費の決算見込みについて
（2）令和7年度学校給食事業の概要について
（3）その他

5 議事内容【抜粋】

（1）令和6年度学校給食費の決算見込みについて

- ・委員から「給食費について歳入と歳出の金額に開きがある」と質問があり、「予算は、歳入と歳出とも同額で計上しているが、長期欠食や給食費滞納等、子供の欠食や滞納による歳入の減少に伴い差が生じている」と回答した。
- ・委員から「歳入が歳出より少ないとのことだが、その不足分の対応は」と質問があり、「町の一般会計から補填している」と回答した。
- ・委員から「未納者への働きかけは誰が行っているか」と質問があり、「給食センター、学校教育課、学校が共同で滞納者への納付対策を行っている。また、給食センターから納付書の送付や電話催告を行っている」と回答した。
- ・委員から「物価高騰により食材費が上昇しているが、予算計上は食材費高騰も考慮しているか。」と質問があり、「予算計上時は物価高騰が明確ではなく前年度を基本に積算した。今後も食材費の動きを注視し、必要に応じて補正予算を計上する。」と回答した。

(2) 令和7年度学校給食事業の概要について

- ・委員から「実施予定数が小中学校とも190日か」と質問があり、「規則に定めた基準日数を記しており、給食費は実日数で計算する」と回答した。
- ・委員から「給食費を改定する場合、食材費となる賄材料費の他に、関連する予算についても考慮した方が良い」との意見があった。
- ・委員から「一般の食費で考えれば、給食は栄養価や衛生面も踏まえた上での金額であり、安くありがたい」との意見があった。
- ・委員から「親子ふれあい給食の参加者の反応はどうか」と質問があり、委員から「家庭で見られない子供の食事の状況を実際に見ることができ、参加できて良かった」との回答があった。また、委員から「多学年の親子ふれあい給食の実施も検討してほしい」との意見があった。
- ・委員から「給食センター見学について、せっかくの機会なので、手続きの緩和の検討」について意見があった。

(3) その他

- ・次回の運営委員会の開催予定について、食材価格高騰の状況を踏まえ、給食費の改定を検討する場合には、第2回の運営委員会を例年の2月ではなく9月～10月頃に行う旨を報告した。

令和7年度 学校給食事業概要

(令和7年5月1日 現在)

1 名 称	豊山町給食センター
2 所 在 地	豊山町大字青山字金剛185番地1
3 事 業 開 始	令和2年9月 (新給食センター)
4 職 員 数	所長1人、栄養教諭1人 事務職員2人(正規職員1人、会計年度任用職員1人)
5 実 施 人 数	小学校3校 児童 936人(953人)、職員 103人(102人)、計1,039人(1,055人) ()内は前年度人数 中学校1校等 生徒 496人(490人)、職員 55人(58人)、計 551人(548人) 計 1,590人(1,603人)
6 実施予定日数	小学校 190日 中学校 190日
7 給 食 費	小学校月額4,940円(1食286円) 中学校月額5,660円(1食328円)
8 使用食器具	4種類 大椀、小椀、仕切り皿、深皿 ポット(アレルギー除去食用) 箸、スプーン、フォーク
9 主 な 事 業	献立作成業務、食育指導 給食費賦課収納事務、施設設備維持管理 給食調理(委託)、配送(委託)、洗浄業務(委託)
10 給 食 内 容	小・中学校の全児童・生徒を対象に給食を提供 アレルギー除去食(乳・卵)を提供
11 食 育 指 導	栄養教諭、学級担任による食育指導 親子ふれあい給食の実施 給食センター施設の見学案内・給食の試食
12 予 算 額	令和 6年度 253,960千円 令和 7年度 252,227千円